

### 学ぶことの多かった「おさかなポスト」訪問

真光寺川を清流にする会 山口拓郎  
<http://www.shinkojigawa.com/>

年が暮れ、年が明け、季節は足早に移っていきます。川の流れも四囲の景色を映し暫しも止まることはありません。今年の正月は快晴にめぐまれました。初日の出に染まる川面は、ひときわすがすがしいものに思えました。あれから3月、いつかうメの花が散り、ハナモモが咲き競い早春の気配を感じず季節を迎えようとしています。

2月の恒例のウォーキングは多摩川の「おさかなポスト」訪問でした。多摩川の生態系を守るため捨てられるペットを預かり、飼ってくれる里親を探す活動を続けています。代表の山崎さんは「外来種といえども尊い命、決して殺さないこと」を信条に、子ども達への教育に力を注いでおられます。教えられることの多い訪問となりました。

#### {12月上旬}

(日の出6時31分) 師走に入り快晴の日が続く。夜明けが次第に遅くなる。薄明の中でコイは悠々と泳いでいる。いつの間にか緋鯉が1匹まぎれこんでいる。イチョウ並木が黄金色に色づく。ドウダンツツジも紅葉する。ブラシ花は咲き続ける。藻は川底に、ひっそりとなりを潜めている。

#### 12月10日(木) 通信発行、一木会

14時、鶴川支所で「通信」の印刷と配布。4名参加。鶴川支所は当分改修に入るそう。その間、三輪支所を使わしてもらうことになる。18時、魚民で一木会。5名参加。議題は生協広報の取材、1～2月のウォーキングについて等。

#### {12月中旬}

(日の出6時40分) 前半は久しぶりに雨が降り続ける。増水し川底に張り着いていた藻は削ぎ落とされ岩肌が剥きだしになる。後半、天気が回復し厳しい寒気が続く。紛れ込んだ緋鯉はいつの間にか見えなくなる。イチョウ散り始める。ブラシ花、フユサクラ咲き続ける。時折、コサギが飛来する。

#### 12月13日(日) 清掃中止、生協取材

朝から冷たい雨、清掃作業は中止となる。いちょう会館で生協の「コープみらい」誌の取材を山本、黒田さんと受ける。後日、掲載誌が送付されてくる。

#### 12月20日(日) 臨時に清掃作業

清掃日が雨で中止となる月が続いたので臨時に清掃作業をすることになる。幸いこの

季節にしては暖かい日和に恵まれた。参加12名。ゴミ23袋と自転車を回収する。ミニ水族館の展示は好評だった。

#### {12月下旬}

(日の出6時46分) 冬至を迎え夜明けが一層遅くなる。晴天が続く。朝方は寒気厳しく池に厚い氷が張る。ブラシ花漸く散り始める。フユサクラはなお咲き続ける。コサギが時折飛来する。削ぎ落とされた藻が次第に川底の岩に育ってくる。

#### {1月上旬}

(日の出6時50分) 年が明けても快晴の日が続く。朝方は寒気が厳しいが日中はほかほか陽気でカモの一家が群れている。コサギも時折訪れ魚を啄んでいる。フユサクラ咲き続ける。サザンカは満開に。藻、勢います。断片が漂う。

#### 1月 1日(金) 初詣

神社で初日の出を待つ。帰り下堰を訪れるセキレイが2羽、軽快に飛び交っていた。

#### 1月 7日(木) 一木会

18時から魚民で開催される。6名出席。議題、1月、2月のウォーキングについて。

#### 1月10日(日) 鶴見川上流域を散策

恒例の1月度のウォーキングは鶴見川上流域散策となる。9時30分、鶴川駅に11名が集合。快晴、絶好の日和に恵まれる。鶴川駅裏の鶴見川に出て川沿いに景観を楽しみながら遡上する。コサギやカモが見ら

れた。古川公園、下川戸上流の親水広場、新袋橋を経て野津田の丸山橋へ。この辺り多自然型親水広場となっている。河川と里山が入り交じり気持ちのいい景観となっている。珍しいテングチョウを発見して大喜びだった。2時、鍛冶屋車橋近くのサイゼリヤで新年を兼ねた遅い昼食をとる。天候仲間に恵まれ、楽しい散策会となった。

#### {1月中旬}

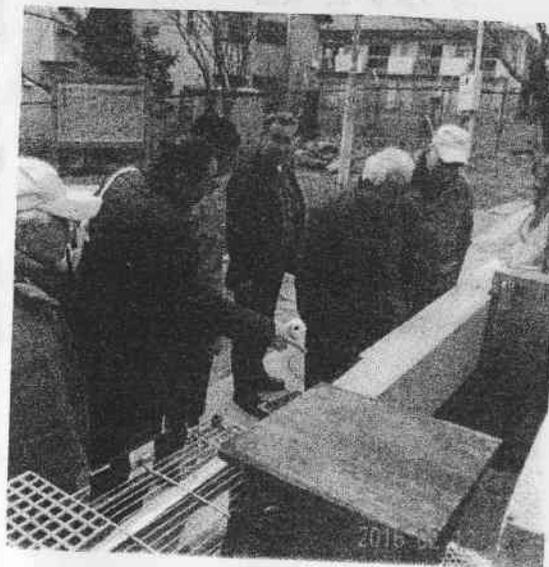
(日の出6時51分) 晴天が続いていたが後半大雪となる。寒気厳しく池は氷に閉ざされる日が多い。カモは喜々として水と戯れている。藻は寒気にめげず勢いがいい。

#### {1月下旬}

(日の出6時48分) 天候は回復したが残雪が処々に残る。寒気団が襲来、最低気温は氷点下以下に。フユサクラは咲き続ける。水辺のマダガスカルカヤツリソウが枯れてくる。藻は階段にべったり張り付いている。

#### {2月上旬}

(日の出6時42分) 晴天が続くが寒気は厳しい。池に氷が張っている日が多い。昨年までこの季節、花を咲かせてロウバイが刈り込まれて僅か2～3輪花をつける。コサギが時々飛来し餌を啄むでいる。藻、ふんわりと膨らんでくる。



2月10日(水)「通信」発行、一木会 鶴川支所が改修中のため三輪支所での作業となる。明るい建物で気持ちがいい。4名参加。18時、魚民で一木会。6名参加。議題；4月号清流会誌の記事、市民大学の予定、2月度ウォーキング予定等

#### {2月中旬}

(日の出6時33分) 春一番、突然気温が上がる。4月の陽気、サザンカ、ツバキ咲き競う。ムクドリが群をなす。藻、茂り断片が一面に漂う。

#### 2月12日(金)「おさかなポスト」探訪

9時半にコンビニ前に集合。7名参加。車に分乗し多摩区生田出所を目指す。代表の山崎さんから「おさかなポスト」の活動の説明を受ける。

- ・多摩川は清流であったが周辺の都市化で死の川になってしまう。
- ・下水道が整備されよみがえり、今では大量のアユが遡上するようになった。
- ・「おさかなポスト」のスタートは2005年、金魚の捨て場に困り泣いて歩いている少年に出会ったことだった。
- ・捨てられる魚やカメは殺さず飼育し里親を探すようにしている。
- ・ペットを安易に捨てないよう、子ども達への教育に力を入れている。

次いで山崎さんのお宅兼事務所に向う。折り重なるように設置された水槽に様々の魚やカメが飼育されていた。

「おさかなポスト」は稲田公園の一隅にあった。フェンスに囲まれたコンクリートの水槽が幾つかに区切られ保護された魚やカメが飼育されていた。親子ずれが餌をやっていた。懇切な対応に感謝して辞去する。2時過ぎ中之島駅近くで遅い昼食をとる。教えられることの多い散策だった。

#### {2月下旬}

(日の出6時22分) 寒気が、ぶりかえす。曇天の冴えない日が続く。川中のマダガスカルカヤツリソウは枯れ蕭条とした景色に。池のほとりの紅梅がいつの間にか満開になっているのに気づく。藻、ふくらむ。季節はためらいがちに春へ向かっているようだ。(この項おわり)